

中村元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

中村元 慈しみの心

No.262

仏教者は(仏法の実践の)ほかには、見解、伝承の学問、戒律、道徳、思想のうち、どのれによっても清らかになる(悟る)とは説かない。彼は…自我を捨て、禍福の因をつくる。(フツダ)

△解説▽種々な意見、学問、戒律、道徳、思想は人間の自我がはからって作り上げたもの。相対的で宗教者にとって絶対ではない。自我を捨て、つまり自己に死に、真実に生きるところに真の自己の発見がある。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.7.27 中村元記念館協力

2016年(平成28年)7月27日(水曜日)

中村元 慈しみの心

No.261

△解説▽作法とは具体的な生きる行為である。宗旨とは仏教の説く生きる筋道である。勝手な生き方では行き詰まるし、理論だけでは生きることにならない。両者が合致するところに自分に納得できる人生が開ける。喩えをいうなら、ゴルフの楽しみは理論と実際の身体の動きを何処まで一致させ、上達できるかにあるのではないか。

作法これ宗旨。

(道元)

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.7.26 中村元記念館協力

2016年(平成28年)7月26日(火曜日)

中村元 慈しみの心

No.264

人は生まれて死するならいとは、智者も愚者も上下一同に知り候えは、始めてなげくべし、おどろくべしとはおぼえぬよし、我も存じ、人にも教え候えども、時にあたりて夢か幻か、いまだわきまえがたく候。(日蓮)

△解説▽人間の死亡率は100%。誰でもが知っていて、私もそのうち死ぬよなどと平気で言っが、さて、「あなたはがんで後3カ月ですよ」と宣告されると、急にあわてたす。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.7.29 中村元記念館協力

2016年(平成28年)7月29日(金曜日)

中村元 慈しみの心

No.263

△解説▽人様の智慧とか、戒律、生き方などについて、あれこれ言うべきではない。それは自分と優劣を競うことである。余計なことで、自分で正しいと思う道を歩けばいい。それが自己の主体性であろう。

智慧、そして戒律や道徳に関して、世間の人に対してあれこれ言うな。自分とは人々と比べて等しいとか、劣っているとか、まさっているとか考えるな。(フツダ)

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.7.28 中村元記念館協力

2016年(平成28年)7月28日(木曜日)

中村元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

中村元 慈しみの心 No.266

南無地獄大菩薩

(白隠)

△解説▽白隠は地獄の怖ろしさにおびえて出家し、地獄にも救いがあることを知って、「南無地獄大菩薩」と書いている。嘘をつくど地獄に墮ちるといふ。坊さんの説教にはどうしても幾分の嘘がまじるから、私も含めて、説法をする坊さんはみんな地獄に墮ちる。そうした冗談を言える救いが仏教の地獄にはある。「冥土にも粋な女がいる」といふなあ」と言った落語の師匠もいる。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.7.31 中村元記念館協力

2016年(平成28年)7月31日(日曜日)

中村元 慈しみの心 No.265

集会の中で論争する者は賞賛を求めて心おだやかならず。負けると気落ちして人のあら探しをするくせに、自分が論難されると怒る。(ブツダ)

△解説▽ブツダの時代には思想家や宗教者たちが盛んに論争していた。答えられないと頭が八つに裂けるとさえ云う。同じ姿勢と心情は現代の私たちの間にも生きている。怒ったら敗者である。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.7.30 中村元記念館協力

2016年(平成28年)7月30日(土曜日)

中村元 慈しみの心 No.268

何かを弟子に隠すような教師の握り拳はない。(ブツダ)

△解説▽80歳になったブツダは生まれ故郷を目指して最後の旅に出る。身体不調で衰弱したブツダに侍者の阿難はまだ教えてもらうことがあるのにと嘆く。ブツダは教えを秘密にしたり、けちったりしたことはない、すべてを教えてきたはずだ、今さら何を言っか、と叱った。

奈良康明・駒澤大名誉教授

訂正 7月27日付の第262回で「禍福の因をつくる」とあるのは「禍福の因をつくらぬ」でした。

2016.8.2 中村元記念館協力

2016年(平成28年)8月2日(火曜日)

中村元 慈しみの心 No.267

不思議ともいうはかりなき不思議かな。不思議不可思議言語道断。(蓮如)

△解説▽不思議とは考えられないことで、不可思議も同意。考えられないことは言葉にもならないから「言語道断」。「不屈き、けしからん」の意味ではない。仏の教えに従うと、なぜか人生の苦が軽くなり、救われる。なぜと考えてみても答えは出ないから、これが不可思議、言語道断。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.1 中村元記念館協力

2016年(平成28年)8月1日(月曜日)